

2015年9月30日

Enterprise Cloud

Oracle 対応ブロックストレージ「Premium++」の価格改定と マネージドオプション「Managed Oracle」の提供開始について

NTT コミュニケーションズ(略称 : NTT Com)は、2015年10月1日より、企業の基幹システム向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」にて、Oracle Database Enterprise Edition RACなど、データの入出力処理(I/O^{*1})を高速に行うRDBMS(Relational DataBase Management System)に対応可能なブロックストレージ「Premium++」の料金を50%値下げします。

また、「Enterprise Cloud」のマネージドオプションとして、Oracle Database の設計・監視からバックアップまでをサポートする「Managed Oracle」を提供開始します。これにより、お客さまは、「Enterprise Cloud」を利用して、クラスター構成のOracle Database を低コストで、安全かつ効率的に運用することができます。

1. 概要

(1) ブロックストレージ「Premium++」の月額料金を50%値下げ

「Enterprise Cloud」で、Oracle Database Enterprise Edition RAC および Standard Edition RAC などに対応したブロックストレージ「Premium++」の月額料金を50%値下げし、月額125円/GBで提供します。これにより、Standard Edition RAC で仮想サーバー2台(CPU4GHz、メモリ16GB、ローカルディスク50GB)および「Premium++」2TBで構築した場合、約40%のコストを削減することができます。

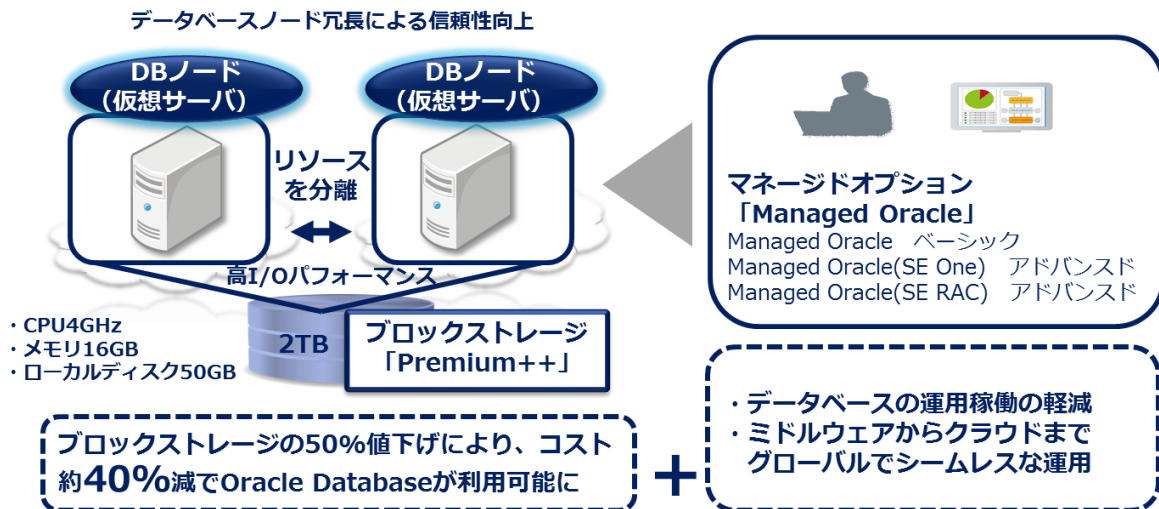
※その他サービス仕様詳細は別紙1参照。

(2) 2タイプの「Managed Oracle」提供開始

「Enterprise Cloud」のマネージドオプション「Managed Oracle」として、Oracle Database の設計・初期設定・監視・インシデント管理・標準変更などを行う「ベーシックタイプ」と、パッチ適用やバックアップを加えた「アドバンスドタイプ」を提供します。これにより、お客さまは、Oracle Database のセットアップ時の煩雑な環境設定や、バックアップ・リカバリ手順などの複雑な運用設計などのデータベース管理業務が軽減され、グローバルに共通化された品質・プロセスで、ミドルウェアからクラウドまでをワンストップで、アウトソースすることができます。

※その他サービス仕様詳細は別紙2参照。

<サービス利用イメージと効果>



Oracle Database Standard Edition RACと「Managed Oracle」とを組み合わせた場合、お客さまは、データベースノードの冗長により、高い信頼性とI/Oパフォーマンスを両立したシステムを、低コストかつアウトソースして、運用することができます。

2. 提供料金 (税込)、提供開始日

(1) 「Premium++」

- ・提供料金 : 月額料金 125 円/GB (旧月額料金 250 円/GB)
- ・提供開始日 : 2015 年 10 月利用分より適用

※提供拠点: 横浜第1データセンター、関西第1データセンター、埼玉第1データセンター

(2) 「Managed Oracle」

- ・提供料金 : 以下の通り

サービスメニュー	単位	月額利用料金	初期工事費用
マネージドオプション Managed Oracle ベーシック	1VM 毎	35,000 円	135,000 円
マネージドオプション Managed Oracle(SE One) アドバンスド	1VM 毎	90,000 円	135,000 円
マネージドオプション Managed Oracle(SE RAC) アドバンスド	1VM 毎	110,000 円	110,000 円

※「Managed Oracle」を利用する場合、Managed Windows Server もしくは Managed Linux のお申し込みが必要です。

・提供開始日：2015年10月1日

※提供拠点：横浜第1データセンター、関西第1データセンター、埼玉第1データセンター

3. キャンペーンの実施について

自社システムをオンプレミスで運用しているお客さまが、NTT Com クラウドサービスへの移行検証を行い、利便性やパフォーマンスを体験できるように、月額料金を最大2カ月無料で利用いただける「Oracle Move to Cloud キャンペーン」を実施します。

キャンペーンサイト：http://www.ntt.com/ec_lp/ec_oracle_01.html

※詳細は別紙3をご参照ください。

4. 今後の展開について

NTT Com では、Oracle Database 関連の製品ラインナップをはじめとした、お客さま企業の基幹システムに最適なサービスの拡充など、既存システムのクラウド化を強力に支援し、お客さまにとって利便性の高いクラウド基盤を提供してまいります。

*1：Input/Output の略。

(別紙 1) ブロックストレージ「Premium++」

- ・ブロックストレージ「Premium++」は、Oracle Databaseをはじめとする RDBMS など、ストレージに対し高い I/O パフォーマンスを要求するシステムのためのストレージサービスです。HDD をベースとしたストレージサービスに比べ、IOPS 性能を必要とするシステムをより手軽に構成できます。

- ・Oracle Database Standard Edition RAC のライセンス料は月額 3,000 円(GHz /月)から、Oracle Database Enterprise Edition RAC は 58,000 円(GHz /月) *から利用でき、ブロックストレージ「Premium++」との組み合わせにより、クラスター構成の信頼性の高い環境を低価格で利用できます。

* Oracle Real Application Clusters および Oracle Partitioning オプション含む

- ・最新フラッシュストレージおよびストレージ接続ネットワークの高速化により、高 I/O パフォーマンスを実現します。

- ・RDBMS 稼働にも十分な性能 (8KB データ 20,000~50,000IOPS)を発揮します。

- ・ストレージ接続は、汎用的な iSCSI 接続です。

(別紙 2) マネージドオプション「Managed Oracle」

・監視項目

標準監視項目	
• プロセス / サービス	• OracleDB テーブルスペース空き容量 (一定値以下)
• OracleDB バックグラウンド・プロセス	• OracleDB データ・ファイルステータス
• OracleDB Ping	• OracleDB データ・ブロック破損
• OracleDB ステータス	• OracleDB ブロッキングロック (一定時間超)
• OracleDB セッション制限使用率	• OracleDB データベース・インスタンス ステータス
• OracleDB ユーザープロセス使用率	
• OracleDB ログ	
• OracleDB バックアップ正常性*	

* 初期設定を行う場合のみ

・オペレーション

タスク	詳細
ストレージ管理	テーブルスペース (表領域) のサイズ設定、データファイルのサイズ設定、ASMディスクグループ設定の追加、変更、削除。 *テーブルスペースとデータファイルのサイズ、領域不足時の自動追加有無・増分値・上限値に関する設定値をお客さまに決定いただいた上で、投入作業を実施します。
パフォーマンス管理	SGAおよびPGAのメモリサイズ設定の追加、変更、削除。(バッファサイズなどの各コンポーネント単位での設定を含む)
Oracleネットサービス管理	アプリケーションサーバーのローカルネーミング (TNSネーム)、簡易接続に対応したリスナー (プロトコル、ポート)、名前 (グローバル・データベースなど) の設定の追加、変更、削除。(アプリケーションサーバー側の設定変更は対象外)
自動ワークロード・レポジトリ管理	「自動ワークロード・レポジトリ(AWR)の設定の追加、変更、削除。
スキーマ・オブジェクト管理	テーブル、索引 (インデックス) などのオブジェクトの追加、変更、削除。
ユーザーアカウント管理 (非スキーマ・オブジェクト)	ユーザー、プロファイル、ロールの各オブジェクトの追加、変更、削除。オブジェクト権限 (他ユーザーの表へのアクセスする権限) の変更を含む。

データベース管理	データベースの作成、削除。尚、本作業にスキーマ・オブジェクトおよび非スキーマ・オブジェクトの設定は含まれません。
データのインポート・エクスポート	Oracle標準ユーティリティの使用を前提として、Oracleデータベースのデータ移動（ユーザー間、データベース間、OracleDB・OSファイル間など）を行います。
マテリアライズド・ビュー管理 （レプリケーション）	マテリアライズド・ビューおよびデータベース・リンクによるOracleDB間のテーブル複製設定の追加、変更、削除。
RACワークロード管理	RACクラスターの接続時ロード・バランシング方式の設定変更。
レプリケーション管理	レプリケーション設定の追加、変更、削除。
バックアップ管理 （オプション）	Oracle標準ユーティリティの使用を前提として、バックアップ自動取得設定の追加、変更、削除。尚、バックアップ環境の準備は、初期セットアップで実施済であること。
リストア・リカバリ （オプション）	Oracle標準ユーティリティの使用を前提として、バックアップ条件の範囲内で、指定の日時のデータベースに復旧します。但し、オブジェクト指定の部分リストア・リカバリには対応していません。尚、初期セットアップで準備されたバックアップ環境があり、かつ、バックアップ計画通り正常にバックアップを取得していることを前提として、リストア・リカバリを実施します。
累積パッチ管理 （オプション）	お客さまに事前承諾いただくことを前提に、累積パッチを適用します。作業概要としては、データベースを停止した上で、データベースのフルバックアップを実施した後、累積パッチの適用となります。

(別紙 3) Oracle Move to Cloud キャンペーン

1. キャンペーン対象条件

キャンペーン対象期間に、新規に「Enterprise Cloud」をお申し込みされたお客さまで、かつ Oracle Database ライセンスをご利用のお客さま

※Oracle Database ライセンスをお持ち込み (BYOL) いただいた方もキャンペーン対象です。

※法人格をお持ちのお客さまに限ります。

2. キャンペーン特典

開通月を含め、最大 2 カ月間無料でご利用いただけます。キャンペーンでご利用いただける Oracle Database ライセンスは Oracle Database Standard Edition One、Oracle Database Standard Edition RAC、Oracle Database Enterprise Edition RAC で、その内、Oracle Database Standard Edition RAC、Oracle Database Enterprise Edition RAC は、ブロックストレージ「Premium++」が併せてご利用できます。

3. キャンペーン対象期間

2015 年 10 月～2016 年 3 月まで実施します。

キャンペーンの適用にはご利用条件がございます。詳細は、弊社キャンペーンサイトもしくは弊社営業担当者にお問い合わせください。